

●「基本目標」に係る検証シートの見方と検証のポイント ※4つの基本目標は1ページ、9ページ、14ページ、21ページに掲載しています。

資料3-3

基本目標名 2 大船渡への新しい人の流れをつくる

1. 基本目標の内容及び重要業績評価指標の実績

計 画 内 容	重要業績評価指標	単位	目標値	基準値	実績値（計画期間）					達成率 (対H28)
			H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
各種観光・スポーツイベントの開催を通じて、当市の魅力を発信するとともに、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会といった国際イベントを活用しながら交流人口の増大を図っていく。 また、豊かな地域資源を活用した滞在体験や、復興ボランティアで当市を訪れたことのある人々などとの交流、市外在住者を対象とした、多様な地域課題の解決を図る社会起業の促進などに取り組みながら、移住促進を図っていく。 さらに、移住希望者の住まいの確保や受入体制、教育環境の整備などに努め、大船渡への新しい人の流れをつくる。	① 年間観光入込客数	単千人	1,200	1,125	882	730				60.8
	② 年間宿泊者数	単千人	525	514	287	227				43.2
	③ 移住相談等を経て移住した人数	累人	50	0	0	18				36.0

2. 基本目標の施策体系及び進捗度

施策1 観光誘客による交流人口の拡大

211 スローシティ大船渡プロモーションプロジェクト	B	221 大船渡スローライフ・スローフードプロジェクト	c→B
212 大船渡ファン獲得プロジェクト	B	222 移住総合支援体制構築プロジェクト	c→B

基本目標における指標の達成度や進捗状況等を総合的に勘案し、進捗度をA・B・Cの3段階で内部評価により評価(判定)しています。

◆ 効果検証においては、この進捗度が妥当であるか検証いただきます。

基本目標の計画内容を記載しています。総合戦略に掲載されている内容と同じです。

重要業績評価指標に関する数値等が記載されています。「実績値」は、単年度で捉えるものと累計で捉えるものの2種類あります。「達成率」は目標値(H31)に対する直近(H28)の実績値の達成割合を算出したものです。これらにより、基本目標の計画内容がどの程度進捗しているか等がわかります。

進捗度が昨年度(前回)と変更があった場合に明示しています。

3. 基本目標の総括（指標の達成度や進捗状況を踏まえて）

・新しい人の流れをつくるため、2施策5プロジェクトを実施した。
・指標の達成状況を見ると、指標①及び②は目標値の4～6割程度であり、2年続けて前年度を下回っている。復興需要が収束したことが大きな要因と考えられる。指標③については、移住相談対応の結びつきは不明であるが、移住者が数値に現れてきている。
・施策1「観光誘客による交流人口の拡大」については、これまでの広く不特定多数に情報発信する方式に加え、首都圏の市出身者等の飲食店等を登録した「大船渡スポット」を基点に、SNS等を活用し当市のPRを草の根的に展開するとともに、平成29年3月に首都圏に大船渡ふるさと交流センターを開設した。今後、大船渡ファンを増やして観光誘客につなげる仕組みづくりが必要である。
・施策2「移住・定住の促進」については、首都圏ICTエンジニアの短期移住やボランティア学生等との交流から当市での暮らしに好印象をもつことが確認できたが、近隣地域との差別化が必要である。また、移住に関する情報の収集・提供が不十分であり、今後、充実を図る必要がある。

昨年度は
C
進捗度
B
<理由>
移住促進に係る総合的な取組が必要である。

4. 基本目標の方向性（施策推進に係る重要事項、重点項目、想定される課題等）

・引き続き、2施策5プロジェクトを実施する。
・指標については、観光ビジョンに基づき、県内や仙台圏を中心にPRや誘客を展開するとともに、首都圏に開設した大船渡ふるさと交流センターや大船渡スポットを活用した情報発信を強化し、観光客の増加を図ることで目標達成を目指す。
・地方創生拠点整備交付金を積極的に活用しながら、地方への人材還流等に資する施設整備等を推進する。
・大船渡スタイルのスローライフ・スローフードの明確化を図り、体験観光メニューや民泊等と組み合わせて提供できる体制を整えるとともに、空き家情報も含めた移住に関する情報の収集・提供に向けた体制づくりに着手する。併せて、「お試し移住」のための宿泊拠点の検討を行う。
・首都圏の市出身者や復興ボランティア経験者等を当市の伝道者として活動してもらい移住に向けた誘客を図る体制を構築する。

5. 平成27年度及び平成28年度における取組実績や指標の達成度、進捗状況等を踏まえ、総括を整理しています。

◆ 効果検証においては、記載されている重要事項や課題等が妥当であるか等を検証いただくとともに、課題の解決や取組の改善に向けた提言等をお願いします。